

平成29年度 高齢者虐待対応状況調査結果について

1 調査の概要

- (1) 当該調査は、法令等に基づき、各市町村に照会した結果を取りまとめたものである。
- (2) 調査対象は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの期間内に虐待の事実確認を行った件数等である。

2 調査結果の概要

(1) 家庭内虐待の状況

28年度中に通報等を受理し、事実確認調査が29年度となった8件を含む。

(単位：件)

区分	平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A-B)	比率(平成29年度)		
相談・通報対応件数(件) (29年度中に通報等を受理した事例)	237 (229)	255 (249)	-18 (-20)			
1 相談・通報の状況	相談・通報者(件)	介護支援専門員	68	86	-18	
		家族・親族	38	35	3	
		警察	35	27	8	
		介護保険事業所職員	21	23	-2	
		市町村行政職員	15	21	-6	
		被虐待者本人	18	18	0	
		医療機関従事者	9	17	-8	
		民生委員	14	16	-2	
		近隣住民・知人	10	17	-7	
		虐待者自身	5	1	4	
		不明(匿名を含む)	1	2	-1	
		その他	5	6	-1	
		計	239	269	-30	
事実確認の状況(件)	相談・通報者(件)	訪問	142	135	7	
		関係者からの情報収集	88	103	-15	
		立入調査	3	7	-4	
		調査不要と判断	3	9	-6	
		対応を検討中	1	1	0	
		計	237	255	-18	

区分		平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A-B)	比 率 (平成29年度)	
2 虐待の内容	1のうち虐待と判断した件数(件)	122	148	-26		
	性別虐待者(人)の	男	25	34	-9	<p>男 20.2%</p> <p>女 79.8%</p>
		女	99	119	-20	
		不明	0	0	0	
		計	124	153	-29	
						1件の事例に対し、被虐待者が複数の場合があるため、上記122件と一致しない。
	虐待の種類(件)	身体的虐待	73	83	-10	<p>身体的虐待 38.0%</p> <p>心理的虐待 27.6%</p> <p>経済的虐待 22.4%</p> <p>介護放棄等 12.0%</p> <p>性的虐待 0%</p>
		心理的虐待	53	70	-17	
		経済的虐待	43	57	-14	
		介護放棄等	23	39	-16	
性的虐待		0	0	0		
計		192	249	-57		
					29年度中に虐待と判断した124人の類型で、重複あり。	
3 被虐待者の状況	被虐待者の年齢(人)	65-69歳	14	13	1	<p>90歳以上 14.5%</p> <p>85-89歳 18.5%</p> <p>80-84歳 23.4%</p> <p>75-79歳 19.4%</p> <p>70-74歳 12.9%</p> <p>65-69歳 11.3%</p>
		70-74歳	16	17	-1	
		75-79歳	24	29	-5	
		80-84歳	29	38	-9	
		85-89歳	23	36	-13	
		90歳以上	18	20	-2	
		不明	0	0	0	
		計	124	153	-29	
	被虐待者の介護保険の申請(人)	認定済み	86	107	-21	<p>認定済み 69.4%</p> <p>未申請 26.6%</p> <p>申請中 2.4%</p> <p>認定非該当(自立) 1.6%</p>
		未申請	33	41	-8	
		申請中	3	3	0	
		認定非該当(自立)	2	2	0	
		不明	0	0	0	
		計	124	153	-29	
	介護保険認定済者の要介護度(人)	要支援1	3	9	-6	<p>要介護1 29.1%</p> <p>要介護2 14.0%</p> <p>要介護3 18.6%</p> <p>要介護4 20.9%</p> <p>要介護5 4.7%</p> <p>要支援2 9.3%</p> <p>要支援1 3.5%</p> <p>要介護5不明 0.0%</p>
		要支援2	8	5	3	
		要介護1	25	24	1	
		要介護2	12	26	-14	
要介護3		16	14	2		
要介護4		18	18	0		
要介護5		4	10	-6		
不明		0	1	-1		
計		86	107	-21		

		区分	平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A-B)	比率(平成29年度)	
3	被虐待者の状況	介護保険認定済者の認知症日常生活自立度(人)					
		自立又は認知症なし	12	2	10	<p>認知症はあるが自立度不明 1.2%</p> <p>認知症の有無が不明 3.5%</p> <p>自立又は認知症なし 14.0%</p> <p>自立度M 0.0%</p> <p>自立度IV 4.7%</p> <p>自立度III 25.6%</p> <p>自立度II 37.2%</p> <p>自立度I 14.0%</p>	
		自立度I	12	16	-4		
		自立度II	32	46	-14		
		自立度III	22	30	-8		
		自立度IV	4	8	-4		
		自立度M	0	2	-2		
		認知症はあるが自立度不明	1	1	0		
		認知症の有無が不明	3	2	1		
		計	86	107	-21		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日常生活を送るために何らかの見守りを必要とする方(自立度II～M 計58人(67.4%))</p> </div>							
4	世帯の状況	虐待者との同居・別居(人)					
		虐待者とのみ同居	71	72	-1	<p>虐待者及び他家族と同居 25.8%</p> <p>虐待者とのみ同居 57.3%</p> <p>虐待者と別居 16.9%</p> <p>その他 0.0%</p>	
		虐待者と別居	21	39	-18		
		虐待者及び他家族と同居	32	39	-7		
		その他	0	3	-3		
		不明	0	0	0		
		計	124	153	-29		
		世帯構成(人)					
		未婚の子と同居	36	46	-10		
		夫婦のみ世帯	25	31	-6		
単独世帯	11	21	-10				
配偶者と離別・死別等した子と同居	16	17	-1				
子夫婦と同居	11	16	-5				
その他①(その他の親族と同居)	12	7	5				
その他②(非親族と同居)	2	0	2				
その他③(他の選択肢に該当しない場合)	11	11	0				
不明	0	4	-4				
計	124	153	-29				
<p>その他①(その他の親族と同居) 9.7%</p> <p>その他②(非親族と同居) 1.6%</p> <p>その他③(他の選択肢に該当しない場合) 8.9%</p> <p>不明 0.0%</p> <p>未婚の子と同居 29.0%</p> <p>夫婦のみ世帯 20.2%</p> <p>単独世帯 8.9%</p> <p>配偶者と離別・死別等した子と同居 12.9%</p> <p>子夫婦と同居 8.9%</p>							
5	虐待者の状況	息子	65	68	-3	<p>孫 2.2%</p> <p>妻 3.6%</p> <p>兄弟姉妹 5.8%</p> <p>息子の配偶者(嫁) 3.6%</p> <p>娘 13.1%</p> <p>夫 13.1%</p> <p>息子 47.4%</p> <p>娘の配偶者(婿) 3.6%</p> <p>その他 7.3%</p>	
		夫	18	28	-10		
		娘	18	27	-9		
		息子の配偶者(嫁)	5	11	-6		
		兄弟姉妹	8	10	-2		
		妻	5	4	1		
		孫	3	1	2		
		娘の配偶者(婿)	5	0	5		
		不明	0	0	0		
		その他	10	12	-2		
		計	137	161	-24		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1人の高齢者に対し、複数で虐待している場合があるため、被虐待者の人数124人とは一致しない。</p> </div>					

区分		平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A-B)	比率(平成29年度)	
6 対応状況	分離の有無(人)	虐待者と被虐待者を非分離	65	68	-3	<p>28年度中に虐待と判断した事例で対応が29年度となった10人を含む。</p>
		虐待者と被虐待者を分離	55	56	-1	
		虐待判断時点で既に分離状態	12	37	-25	
		対応を検討中	1	2	-1	
		その他	1	3	-2	
		計	134	166	-32	
上記のうち分離の内訳(人)	契約による介護保険サービスの利用	15	15	0		
	医療機関への一時入院	19	12	7		
	緊急一時保護	3	8	-5		
	上記以外の住まい・施設等の利用	8	8	0		
	老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置	6	6	0		
	虐待者を高齢者から分離(転居等)	1	3	-2		
	その他	3	4	-1		
	計	55	56	-1		
上記のうち非分離の内訳(人)	養護者に対する助言・指導	26	45	-19	<p>非分離65人の内訳で、重複あり。</p>	
	既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し	10	20	-10		
	経過観察(見守り)	29	15	14		
	被虐待者が介護保険サービス以外のサービスを利用	3	8	-5		
	被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	3	2	1		
	養護者が介護負担軽減のための事業に参加	2	0	2		
	その他	8	4	4		
	計	81	94	-13		
成年後見制度の利用状況(人)	成年後見制度利用開始済み	3	5	-2	<p>29年度中の対応合計人数134人の利用状況</p>	
	成年後見制度利用手続き中	1	3	-2		
	計	4	8	-4		
	(4人の内数)市町村長申立あり	4	5	-1		
	(")市町村長申立なし	0	3	-3		
日常生活自立支援事業利用開始(人)	6	15	-9			

(2) 施設内虐待の状況

① 虐待の件数 1件

② 虐待の状況

事 項	内 容
① 被虐待者の状況	・女性 80代 要介護4
② 虐待の種類	・身体的虐待
③ 虐待に対してとった措置	・施設等に対する指導 ・改善計画の提出
④ 虐待を行った施設等のサービス種別	・介護老人福祉施設
⑤ 虐待を行った従事者等の職種	・介護職員

(参考)

(1) 市町村は、養介護施設従事者等による高齢者虐待の通報又は届出を受けたときは、厚生労働省令で定めるところにより、当該通報等に係る養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する事項を、都道府県に報告しなければならないこととされています。

(高齢者虐待防止法第22条)

(2) また、都道府県は、毎年度、養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況、養介護施設従事者等による高齢者虐待があった場合にとった措置その他厚生労働省令で定める事項を公表することとされています。(高齢者虐待防止法第25条)